

あつさと



厚木佐藤病院
since 1983

2023年
2月
Vol.4

歌り八での理事長お誕生日会の風景

掲載内容

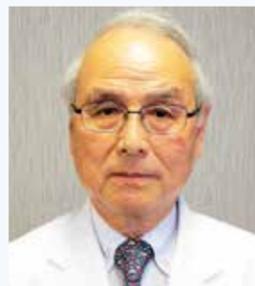
開設40周年を振り返って

理事長挨拶 院長挨拶

看護学生臨床実習の受入れを行いました。
大画面で一緒にリハビリ ～D病棟リハビリにプロジェクター導入～
検査案内 ～チクッと痛い採血。でも重要! 血液検査～
部署紹介 ～栄養管理課です～
厚木市生ごみ資源化事業に参加しています
知っていますか? 「带状疱疹」
精神科コラム 第3回「躁うつ病とうつ病の違い」
病院食紹介
永年勤続表彰を行いました



開設40周年を振り返って



厚木佐藤病院
理事長
佐藤 一守

当院は開設40周年を迎えました。

開設前の数年間、私は都立松沢病院で精神科医として合併症病棟の立ち上げに関わってきました。精神疾患を持つ患者さんは、一般病院ではなかなか受け入れてもらえず、その人達のために総合病院的なものを作ろうという東京都の考への基に創められた企画です。そこで、一般科の医師を招集しましたが、患者の対応に戸惑い辞めてしまう医師が多く、私も内科等の勉強をせざるを得ませんでした。

そのような経過で病院開設にあたり、精神科の患者さんも受け入れる一般病院を作ろうと考えました。そのうち合併症を持たない精神疾患の患者さんの希望が多くなり、その多くは認知症の患者さんであったため、平成10年に新館を建設する際、旧館を認知症治療病棟として独立させました。

平成25年に現院長が常勤医となり、外科（呼吸器外科）を含めた一般病棟の診療も始めました。時々肺癌の手術等も行われますが、リハビリを兼ねた内科的診療も行っています。

私は認知症を診る精神科医として、見ていて危ないからという理由で、患者さんの身体拘束をすることに、絶対反対の立場をとっています。「鳥は飛ぶもの、魚は泳ぐもの、人は歩くもの」をモットーに認知症病棟を運営してきました。

これからも当院は、精神疾患や認知症に罹患しても十分な身体的医療を受けられる病院でありたいと考えています。

今後の運営は現院長の専門を取り入れ、時代の変化やニーズを考えながら柔軟に取り組んでいきます。それに伴い運営方針も変化していくかもしれませんが、皆様の変わらぬご支援を期待しています。



厚木佐藤病院
院長
佐藤 史朋

皆さんあけましておめでとうございます。

当院は現理事長（佐藤一守）が昭和58年に厚木市小野のこの地に60床の病院として開設しました。増改築を繰り返し現在は184床、内科・精神科・外科を中心とする多くの診療科を持つ病院にまで成長しました。これもひとえに地域の方々のおかげだと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

現在日本は空前の高齢化社会となっており、2030年には全人口の1/3が65歳以上となる2030年問題が来ると言われています。その後も高齢者は微増する反面、若い世代の労働人口が減少していく時代が来る統計予想となっております。病院においてはスタッフの数が限られてくる中、今後どれだけ質を落とさず効率的に患者さんの対応を行っていくかが鍵になってくると思います。その為、一昨年当院の病院理念を「心と体の健康を守る質の高い地域医療の提供」と変更いたしました。国の医療制度改革で病院に求められることは年々増えており、最近では入院期間や在宅復帰率など細かな規定が設けられるようになってきました。これらをクリアしていくためには質の高い医療で効率的に患者を治療していくことが重要と思われる。昨年当院では看護学校の実習受け入れをはじめとする教育の強化や、MRIなどの新たな検査機器の導入などを行いました。今後も質の向上を目指し様々な改善や改革を行い、地域の人たちに安心して利用していただける病院を作りたいと思います。

まだまだ新型コロナやインフルエンザが流行っていますが、今後も地域の皆様の力になれるように尽力して参りますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

令和	平成	昭和
<p>5年1月 開設40周年</p> <p>4年9月 看護実習受入れ開始</p> <p>4年7月 MRI装置運用開始</p> <p>3年7月 広報誌「あつさと」vol.1発刊</p> <p>3年7月 診察券新デザインへ変更</p> <p>3年5月 基本理念「心と体の健康を守る質の高い地域医療の提供」へ変更</p> <p>3年5月 病院コミュニケーションマーク変更</p> <p>31年4月 看護部教育部門スタート</p> <p>31年3月 16列マルチCT更新</p> <p>29年10月 神奈川県認知症疾患医療センター（厚委託事業）運営開始</p> <p>28年7月 184床に増床</p> <p>28年4月 佐藤史朋Dr院長に就任</p> <p>27年4月 新手術室運用開始</p> <p>25年9月 「抑制廃止に關する当院の方針」を打ち出し</p> <p>25年1月 開設30周年</p> <p>24年9月 16列マルチCT導入</p> <p>24年3月 介護老人保健施設ごまち開所</p> <p>24年2月 日本医療機能評価機構 Ver.6.0（審査体制区分2）認定</p> <p>20年6月 4列マルチCT導入</p> <p>19年7月 日本医療機能評価機構 Ver.5.0（審査体制区分2）認定</p>	<p>10年7月 旧館改修 病棟をD病棟（ふれあい病棟）とし、178床とした</p> <p>10年4月 本館完成 病棟をA・B・C病棟とした</p> <p>8年11月 本館建築開始</p> <p>7年4月 第1回看護部抑制研究発表会開催</p> <p>5年7月 CT導入</p> <p>5年4月 開設10周年</p> <p>2年1月 在宅医療開始</p> <p>1年6月 日帰り人間ドック開始</p> <p>1年3月 病院の近代化、医療内容の充実、人材の育成と確保を図る目的で、「医療法人社団藤和会」を設立</p>	<p>58年1月 厚木佐藤病院開設 60床 基本理念 「あたたかい看護とやすらぎのある病院を」</p> <p>60年4月 良質な医療が提供でき、地域医療の需要に応える為、128床へ増床</p> <p>1年3月 病院の近代化、医療内容の充実、人材の育成と確保を図る目的で、「医療法人社団藤和会」を設立</p>

看護学生臨床実習の受入れを行いました。



当院では社会貢献の一つとして、次世代を担う学生の育成を行っている施設です。その一環として、令和4年9月～12月までの3ヶ月間、看護大学生30名(5名×6グループ)の受入れを行いました。看護学生は、受け持ち患者さんの看護を通して、臨床現場を経験することができました。

病院臨床実習にご協力いただいた患者さん、ご家族の方に改めて感謝申し上げます。
実習経験を通して看護の魅力を知り、未来の看護師を目指す学生を当法人全体で支援しています。

私たちと一緒に看護をしませんか？

「人と人のふれあいを大切に、あたたかい看護・介護を実践します」を看護部基本理念に、日々患者さんのケアにあたっています。地域に根差した医療を提供するために、私たちと共に働き、一緒に成長しませんか？

看護部 職員募集

当院と一緒に看護に携わっていただける方を募集しております。

- 職員寮完備(送迎あり)で、単身者も安心して働けます。
- 教育制度に力を入れており、未経験者もしっかりサポートします。
- 直接応募された方で常勤として6ヶ月勤務された方に入職祝い金を支給しています。

お問い合わせ先: TEL 046-250-5160(人事課 小島・鈴木)



職種 看護師・准看護師

待遇 昇給年1回、賞与年2回、
期末手当支給、交通費実費支給

詳しくはホームページをご覧ください!

厚木佐藤病院 検索
<http://www.touwakai.com/job.html>

看護部のホームページはこちら!

厚木佐藤病院 看護部 検索
<https://www.atsugisato-kangobu.jp>



大画面で一緒にリハビリ ～D病棟リハビリにプロジェクター導入～



D病棟では、ホールに患者さんが集まり、TVを利用して身体を動かしたり、歌を歌ったりと参加者全員で集団リハビリ“脳トレ”を行っています。しかし、コロナ禍の影響で患者さん同士の間隔を空けてリハビリを行う為、画面が見えない・後方だと見づらい・字が小さいなどの声がありました。

そこで令和4年10月よりプロジェクターを導入しました。TVと一緒にプロジェクターによる大画面を使用することで、どの場所からでも画面や字が見やすくなり、音も良くなった為、患者さんが快適に楽しくリハビリに参加できるようになりました。

今後は、集団リハビリ以外でも、映画や音楽を流して患者さんが気分転換を図れるよう有効活用していきます。

検査案内 ～チクツと痛い採血。でも重要! 血液検査～

血液は、身体のすみずみに酸素や栄養などを運ぶ役割があります。

血液を採取(採血)し、その成分や数値を調べることで身体の異常の有無や程度を調べられます。血液検査は、主に全血のまま測定する血液学検査と、遠心分離して得られた血清で測定する生化学検査などがあります。

血液学検査とは…

赤血球、白血球、血小板などの数を調べます。赤血球は、酸素を運ぶ重要な働きがあり、貧血の指標になります。白血球は、身体を細菌やウイルスなどの病原体から守る働きがあり炎症、感染症、血液疾患の指標になります。血小板は、出血したとき、その部分に粘着して出血を止める役割を果たしています。減少すると出血しやすくなります。

生化学検査とは…

肝臓や腎臓の異常、高脂血症、糖尿病、また炎症があるかなどを分析し、診断や健康状態、また治療中の病気の状態観察を行う検査です。

生活習慣病の中には、自覚症状が現れる前に病気が進行してしまっているものもあります。早期にリスクを知ることによって生活改善や予防に役立てることもできます。

定期的に検査を行い自分の体を守りましょう!



〈全自動血球計数器〉
血液学検査で使用する機器の1つです

部署紹介 ～栄養管理課です～

栄養管理課では、医師の指示の下、入院患者さんの病状に応じた食事、または治療食を提供しています。

当院の基本理念である「心と体の健康を守る質の高い地域医療の提供」を食事の面からサポートし、安全でおいしい食事の提供は元より、患者さんに喜んでいただけることを一番に心がけて調理しています。

患者さんの状態に合わせて、普通食、ソフト食、ミキサー食を主な食形態として提供しています。中でもソフト食に力を注いでおり、スチームコンベクション、回転釜、圧力鍋といった調理機器を駆使して、従来のきざみ食とは違い、食材の形はそのままでも舌でつぶせるやわらかさに調理することで、食べることを喜んでいただけるように工夫しています。

毎月の行事食では、その季節の旬の食材を使用し、普段の食事とは趣の異なる季節感、楽しんでいただける食事を提供しています。

また、当院の職員が調理する“直営”の利点を活かして、可能な限り「手づくり」にこだわっています。「手づくり」による温かみのある食事は、患者さんの心と体の健康を守るために一番大切なものと信じ、栄養管理課一丸となって患者さんをサポートしていきたいと考えています。



〈ソフト食の献立〉
お粥、ポークと具沢山野菜の煮込み、大根の煮物、サラダ、マンゴーシロップ漬 ※見た目は、普通食と変わりません

栄養管理課 職員募集

一緒に患者さんの食事に携わっていただける方を募集しております。

職種 調理職

勤務時間 6:00～19:45 の間で8時間のシフト制

待遇 昇給 年1回、賞与 年2回、
期末手当支給、交通費実費支給、
早出(6:00～)900円/回、遅出(11:00～)400円/回

パートも募集しています!

詳しくはホームページをご覧ください!

厚木佐藤病院 検索

<http://www.touwakai.com/job.html>



厚木市生ごみ資源化事業に参加しています

病院では毎日、紙類・可燃ごみ・医療廃棄物など様々な種類のごみが排出されます。その中でも、生ごみの排出量が多く、上手く活用できないかと模索していました。そのような中、厚木市では令和4年10月から「食品廃棄物の焼却から資源化への転換」を図る目的として生ごみ資源化事業を始めました。今まで焼却していた生ごみをリサイクル施設でメタン発酵処理し、バイオエネルギー化することでエネルギーの創出(化石燃料由来の発電からの脱却)、焼却を減らすことによりCO₂削減につながります。

当法人では、令和4年11月から本事業に参加し、生ごみの資源化を行っております。本事業に参加することにより、地球温暖化防止に少しでも貢献できたらと思います。



知っていますか? 「带状疱疹」

带状疱疹は、子供の頃にかかった水疱瘡のウイルスが長期間潜伏し、免疫低下などによって再活性化したときに発症する病気です。症状は、まず体の片側の一部に、チクチク・ピリピリといった痛みが現れます。1週間程度経過すると、発疹が多発して、徐々に痛みが強くなり、その後水疱が潰れて皮膚が正常に戻ります。

50歳以上になると発症率が急増するため、50歳以上の方を対象としたワクチンがあります。重症化すると、神経を損傷し痛みが続く場合もある病気です。带状疱疹にならないために、ワクチン接種のほか、普段から規則正しい生活に努め、免疫力を低下させないことが大切です。 担当科: 内科



精神科コラム 第3回「躁うつ病とうつ病の違い」

躁うつ病は気分が高まって極度に活動的になったり、落ち込んだり、躁状態(気分の高揚状態)とうつ状態を繰り返す病気です。うつ病は気分が落ち込んだり、眠れなくなったりする状態だけが見られます。

躁うつ病はうつ病の1種とされがちですが、実はうつ病ではなく、「双極性障害」という異なる病気です。治療も異なります。ただし、どちらの病気が区別する判断は難しく、多くの患者はうつ状態で受診し、その後、躁状態を発症して初めて双極性障害と診断されます。

治療法は、うつ病には抗うつ薬、双極性障害には気分安定剤と抗精神病薬を用います。また、心理的社会的アプローチも大切で、本人が自分の病気を受け入れてコントロールできるようになることが治療に役立ちます。本人だけでなく、周囲の人も日頃の様子や気分の波を見守り、安心できる環境をつくっていきましょう。

担当医師: 精神科 佐藤一守、安東 神経内科 瀧澤



病院食紹介

今回はお正月のお食事を紹介します。元旦のお昼には、まぐろとはまちのお刺身、黒豆（まめに暮らす）と厚焼卵（寿の焼印入り）、お粥で作ったゼリーをお餅に見立てたお雑煮風を召し上がっていただきました。三が日のお昼は、おせち料理を少しずつ提供し、お正月らしさを味わっていただける献立を心がけました。



永年勤続表彰を行いました

病院創立から40周年の佳節を迎えた本年1月14日に永年勤続表彰を行いました。冒頭、佐藤一守理事長が感謝の言葉を述べ、当法人に長年勤めている職員を称え表彰状を授与しました。今年は勤続30年2名、20年2名、10年28名、5年15名、3年16名の合計63名と沢山の職員が対象となりました。



勤続30年の2名と20年の2名

厚木佐藤病院 基本理念と行動基準

基本理念 心と体の健康を守る質の高い地域医療の提供

行動基準

- ・患者さんに寄り添い真心と責任を持って接しよう
- ・スタッフ全員で作るチーム医療をしよう
- ・学ぶ姿勢を持ち医療の質を高めよう
- ・常に考え安全で効率的な医療を目指そう
- ・健康に気を付け元気に業務にあたれるようにしよう

医療法人社団 藤和会 厚木佐藤病院

住所 〒243-0125 神奈川県厚木市小野759

診療および医療相談についてはこちら

TEL 046-247-1211 FAX 046-247-6552

認知症疾患医療センター TEL 046-247-1211

月・火、木～土（祝日は除く） 9:30～16:00

診療時間 月曜～土曜

午前 9:00～12:00（初診は、11:00まで）

午後 14:00～17:00（初診は、16:00まで）

※受付終了時間は、診療終了15分前となります。
※祝日は、休診となります。※診療料は、曜日によって異なります。
お電話またはホームページをご確認ください。

交通のご案内（バス）

●小田急線「本厚木」駅東口下車

厚木バスセンターより9番のりば「森の里」行き（赤羽根・高松山経由以外）
「七沢」「神奈川川ハビリ」「広沢寺温泉」行き→「小野橋」下車

●小田急線「愛甲石田」駅下車

3番のりば「七沢病院」行き→「小野橋」下車4番のりば「森の里」「松陰大学」
「日産先進技術開発センター」行き→「小野橋」下車

ホームページもぜひご覧ください！

厚木佐藤病院 **検索**
<http://www.touwakai.com>



入院相談についてはこちら 医療サービス課

TEL 046-258-6663 FAX 046-247-1247

アクセスマップ



Vol.4の内容は、いかがでしたでしょうか？ 当院は、創立40周年を迎えました。40年の歴史を紹介させていただきましたが、開設から現在までを振り返り、改めて気を引き締めて業務に取り組んでいきたいと感じました。基本理念に基づき努力して参りますので、本年もよろしくお願いいたします。

厚木佐藤病院 広報委員会
海老原、鍛代、近藤、川本、山田(美)、高久、大木、松本